

# 定例公安委員会開催概要

## 1 開催日

令和7(2025)年11月5日

## 2 開催内容

次の議題について、警察本部から説明・報告がなされ、決裁等が行われた。

### ■全体会議

#### 【公安委員会から】

冒頭、委員から、

「本日、県民課が行っている小中学生の庁舎見学について、その学校にゆかりのある職員が参加する『アテンドサポーター』の取組を視察させていただいた。この取組は、警察と児童・生徒との距離を縮め警察官を将来の職業の選択肢の一つに加えてもらいたいという、中長期的な視点に立って始まったものであり、非常に良い施策であると思った。今後も少子化は進み、採用情勢は今まで以上に厳しくなることから、スピード感を持って先手先手の対策を講じていく必要がある。この度、警務部長を中心に情報発信の充実強化を目指す『次世代に向けた情報発信の在り方検討委員会』が立ち上がったとのことで、各部門が共通意識を持ち、効果的、持続的な取組となるようにしていただきたい。」

旨の発言があった。

#### 【警務部議題】

##### ○ 令和7年県議会9月定例会の開催状況について

警察本部から、「県議会9月定例会の会期は、9月25日から10月24日までの30日間であり、警察本部関係の議案等については、議案、報告各3件であった。

10月1日から3日まで3日間行われた一般質問では、2名の議員から質問があり、公安委員会委員長及び警察本部長が答弁した。主な質疑・答弁については、『希望いわて』北上選挙区の高橋はじめ議員から、熊との共存と有害鳥獣の捕獲、市街地及び人里における人身被害防止に資する警察本部の取組について質疑がなされ、本部長が、また『日本共産党』盛岡選挙区の斎藤信議員から、上司のパワハラによる警察官の自死問題について質疑がなされ、公安委員会委員長及び本部長が、それぞれ答弁した。

10月6日に行われた総務委員会では、付託議案における警察本部への質疑等はなく、原案どおり可とされた。また、議案審査後の『この際質問』についても、警察本部に対する質問はなかった。

決算特別委員会について、10月14、15両日に行われた総括質疑では、警察本部関係の質疑はなかった。10月16日に行われた警察本部審査では、『自由民主党』遠野選挙区のはぎの幸弘委員から、DNA鑑定、本県における防犯カメラ等の設置状況の把握について質疑

がなされ、生活安全部長及び刑事部長が答弁した。また『希望いわて』盛岡選挙区の軽石義則委員から、刑法犯や交通事故等の現状について質疑がなされ、生活安全部長、刑事部長及び交通部長が答弁した。『いわて県民クラブ・無所属の会』八幡平選挙区の工藤剛委員から、特殊詐欺及びSNS型投資ロマンス詐欺について質疑がなされ、生活安全部長が答弁した。『いわて県民クラブ・無所属の会』盛岡選挙区の村上貢一委員から、交通事故抑止対策、県民の自転車事故防止強化、第12次岩手県交通安全計画に向けた警察の方針等について質疑がなされ、本部長及び交通部長が答弁した。『日本共産党』斎藤信委員から、上司のパワハラ暴行による自死事件、不祥事事案について質疑がなされ、警務部長及び首席監察官が答弁した。『公明党』盛岡選挙区の小林正信委員から、オンラインカジノについて質疑がなされ、生活安全部長が答弁した。」旨の報告があった。

### 【生活安全部議題】

#### ○ 専決事務処理状況（令和7年7月～9月）について

警察本部から、「令和7年7月から9月の専決事務処理状況について報告する。『風営適正化法関係』では、専決者を生活安全企画課長とする『営業の許可、遊技機の検定・認定等』が266件で前年同期から146件減少したほか、専決者を署長等とする『風俗営業の変更承認等』が850件で108件減少した。主な減少理由は、ぱちんこ営業者からの遊技機の入替等に伴う変更承認申請や変更届出が減少したものである。『探偵業法関係』では、専決者を署長等とする『探偵業届出、変更届等の受理』が4件で前年同期から18件減少しており、主な減少理由は、廃止届出が減少したものである。『警備業法関係』では、専決者を生活安全企画課長とする『資格者証、合格証明書の交付等』が74件で前年同期から22件減少しており、主な減少理由は、警備員の検定合格証明書の交付申請が減少したものである。

『質屋・古物営業法関係』では、専決者を署長等とする『古物営業の許可等』が279件で前年同期から34件増加しており、主な増加理由は、古物営業者からの仮設店舗営業届出が増加したものである。『銃刀法関係』では、専決者を署長等とする『上記以外の銃砲所持許可の更新等』が363件で前年同期から50件減少しており、主な減少理由は、所持許可の更新申請と所持許可証の書換申請が減少したものである。『火取法関係』では、専決者を署長等とする『運搬届、猟銃用火薬類の譲受・譲渡許可等』が637件で前年同期から54件減少しており、内訳は、それぞれ、工事等に使用する火薬類を運搬するための運搬届が前年同期比で14件の減少、猟銃用火薬類に関するものが前年同期比で40件の減少となっており、主な減少理由は、猟銃等所持者数の減少に伴い猟銃用火薬類に関する申請件数も減少したものである。」旨の報告があった。

## 【刑事部議題】

### ○ 刑法犯認知・検挙状況について（令和7年9月末暫定値）

警察本部から、「本年9月末における暫定値ではあるが、全国等の刑法犯総数の状況について、認知件数が全国では増加、管区・本県では減少、検挙件数・検挙率が全国・管区では増加、本県では減少、検挙人員が全国・本県では増加、管区では減少となっている。主な減少要因は、認知件数における凶悪犯、窃盗犯、風俗犯及びその他の刑法犯、検挙件数における凶悪犯、窃盗犯及び風俗犯がそれぞれ減少したものである。本県における重要犯罪は、認知件数が72件で前年同期比20件の減少、検挙件数が59件で同比18件の減少、検挙率が81.9パーセントで同比1.8ポイントの減少、検挙人員が49人で同比16人の減少となっている。重要窃盗犯は、認知件数が182件で前年同期比98件の減少、検挙件数が115件で同比53件の減少、検挙率が63.2パーセントで同比3.2ポイントの増加、検挙人員が38人で同比同数となっており、認知件数、検挙件数が大幅に減少した。主な減少要因は、前年同期において大幅に増加した侵入窃盗の件数が減少したものである。特殊詐欺及び住宅対象の侵入窃盗のうち、特殊詐欺は、認知件数、検挙件数が増加、検挙人員が減少したが、特に、認知件数は、前年同期35件の約3倍となる102件に増加している。住宅対象の侵入窃盗は、認知件数、検挙件数、検挙率、検挙人員いずれも減少している。引き続き、早期検挙に向けた迅速・的確な捜査を推進していくこととする。」旨の報告があった。

## 【警備部議題】

### ○ 警察職員の援助要求について

警察本部から、「当県における熊による人的被害の発生に伴い、熊の駆除に対応するチームを設置するため、関係する都道府県公安委員会に対し、援助要求を行うものである。」旨の説明があり、決裁した。

### ○ 令和7年度岩手県総合防災訓練への参加について

警察本部から、「令和7年度の県総合防災訓練は、東日本大震災津波、平成28年台風第10号災害、令和元年台風第19号災害等の大規模災害の教訓を生かし、『自助』、『共助』、『公助』の下、災害対応の総合力の強化を図ることを目的として行われ、県警察も参加する。訓練は、11月8日、釜石市及び大槌町両自治体で行われ、会場は、釜石市が市民交流センター、釜石東中学校等、大槌町が吉里吉里学園小学部、大槌町文化交流センター等であり、参加機関は、警察のほか、自衛隊、消防、海上保安庁、気象台、医師会等計82機関を予定している。訓練は、『北海道・三陸沖後発地震注意情報』が発表される中、『11月8日午前8時30分、三陸沖においてマグニチュード8を超える巨大地震が発生し、県内で最大震度6強を観測、沿岸部で大津波警報が発表された』との想定で行われ、災害対策本部設置・運営・伝達訓練をはじめ全74項目の訓練を実施する。警察が参加する訓練は、『救出救助訓練』、『地上偵察訓練』、『映像伝送訓練』、『上空偵察訓練』、『遺体対応訓練』、『避難所等における安全パトロール』の6項目を予定している。訓練を通じて関係機関との連携強化を図り、災害対処能力の向上に努めていく。」旨の報告があった。

## ○ 令和7年テロ対策いわてパートナーシップ推進会議総会の開催について

警察本部から、「テロ対策いわてパートナーシップ推進会議は、関係機関・団体、事業者及び地域住民等が連携し、継続的に各種テロ対策を推進することにより、テロの未然防止のほか、万が一テロ等が発生した場合でも人的被害を発生させないことを目的に平成29年10月に設立したもので、現在の参画企業・団体は92企業等である。総会は毎年開催しており、本年は、11月7日に警察本部で行う予定である。総会では、令和7年中の活動報告、今後の活動方針の議事、テロ対策に関する特別講演等を行うこととしている。特別講演は、岐阜女子大学南アジア研究センター特別客員教授である前・在インド・チェンナイ日本国総領事旁賀政幸氏を講師に招き、『日本との関係拡大・強化が進むインド・南アジアにおけるテロ・治安情勢について』との表題で行う予定である。なお、本総会は報道機関に広報することとしている。」旨の報告があった。

## ■個別会議

## ○ 監察課

## 保有個人情報部分開示決定に係る審査請求の却下についての説明、決裁監察課業務報告

## ○ 運転免許課

免許取消等処分関係に係る意見の聴取結果等の説明、決裁

○ 総務課

## 公安委員会あて文書の受理・処理についての説明、決裁